

# 御杖小学校 御杖中学校 通信

～礼儀正しく あいさつの声がひびく 笑顔あふれる学校をめざして～

**2025年2学期号**

**広島へ修学旅行に行きました！**



10月19日・20日と曾爾小中学校と合同で、広島方面に修学旅行へ行ってきました。いつものことですが、雨が降らないかと心配しておりましたが、天候にも恵まれ快適な2日間を過ごすことが出来ました。

1日目は平和記念公園や原爆資料館を見学し、被爆体験語り部の方のお話を聴きました。近年、実際に被爆体験をされた語り部の方が御高齢となり、「被爆体験者から聞き取った内容を語り伝える若手の方々」に交代していく時代となってきました。「戦争を私たち若者が風化させてしまってはいけない」そんな思いも伝わってくる経験となりました。その日の夜には、恒例となりうる宮島へのナイトクルーズ。小さな夜の船旅も子どもたちにとっては大きな冒険です。みんな大はしゃぎでとても盛り上がりました。

2日目は、再度宮島に渡り、世界遺産である厳島神社、宮島水族館の見学をした後はお楽しみの「お土産タイム」。やはり最近の子どもたちです。ネット情報を駆使し、買う「もの」と買う「お店」もしっかり調べてきた児童が多く、てきぱきと要領よく(笑)買い物を楽しんでいました。

毎年のことですが、平和学習に観光にそして体験に・・・と大忙しの楽しい修学旅行でした。御杖小としては6年生1人の修学旅行でしたが、曾爾小中のお友達とすっかり仲良しになり、良い思い出がいっぱいの修学旅行になったと思います。2日間お疲れさまでした。

## 本格的！車椅子スポーツ体験をしました。



10月29日、NPO法人ホスピタルフットボール協会代表理事の糸賀享弥さんと、宇陀市在住の日常的に車椅子を使って生活をしている稲垣大貴さん(私の教え子です)をお招きし、小学校5年生と教職員を対象に車椅子スポーツ体験を行いました。糸賀さんに、普段なかなか目にすることの無い本格的な競技用車椅子を、なんと20台(!)持ち込んでいただき、車椅子の組み立て方から、仕組み、操作方法までをしっかり学びました。その後、ハンドボール形式のゲームを稲垣さんと一緒に楽しみました。

子どもたちは流石に飲み込みが早く、すぐに思ったように車椅子を動かすことができていたのですが、私を含む教員たちの動きはイマイチ(笑)でした。

この体験が、すべての人々が共に安心して暮らし、幸せを共有できる社会はどうあるべきなのか考える一つのきっかけとなれば嬉しいです。

## 日頃の頑張りを発表！「小中学学習発表会」

11月15日、小中学校合同の学習発表会を行いました。総合的な学習の時間や生活科で学習したことを中心に、日頃の学習成果を精一杯発表しました。小学校低学年の児童は、「御杖村で働く人々の思いを知ろう」について、中学年は「御杖村のこんにやく作りを調べよう」について、高学年は「御杖村の魅力を発信しよう」について発表しました。中学校の生徒は学習班である「歴史・文化」班が「歴史における北畠氏と御杖城を取り巻く人々の関係」を、「自然・環境」班は「三峰山を中心に調べた御杖の豊かな自然環境」についての発表がありました。どの学年も、表現方法や発表技法に工夫を凝らした内容で、御杖村の人々への感謝の気持ちとふるさとへの思いがいっぱいに溢れる素晴らしい発表でした。他にも、合奏や合唱などの音楽発表や作文発表、会場には、図画や工作の展示もあり、盛りだくさんの発表会でした。当日は保護者やご来賓、そして学習にご協力頂いた地域の方々など、たくさんの方にお越しいただきました。本当にありがとうございました。



## 生徒総会が開催されました！ スクールカウンセラーによる授業 「命の授業」を受けました。

**中学校** 10月に行われた生徒会本部役員選挙において信任された、生徒会会長の馬淵深己さんと副会長の竹之内姫音さんの司会、進行のもと11月12日に令和7年度後期生徒総会が開催されました。

総会の開始すぐに退任と着任双方の挨拶があり、続いて全生徒が新たな立場と役割で、各委員会の後期の活動案の発表やその内容に対する質問などを行いました。お互いに意見を出し合い、質疑応答する様は、さながら小さな国会のようでした！頼もしさも感じられ、また有意義な会議にもなりました。新体制で後期も頑張ってくださいね！



**小学校** 11月13日、小学5年生に向けて、スクールカウンセラーの内山先生による「アサーショントレーニング」～自分も相手も尊重しながら、意見や気持ちを率直に、かつ適切に伝えるためのスキルを身につけるトレーニング～の授業を受けました。子どもたちは日常における相手の気持ちを考えて行動する場面の課題をいただき、どうすべきかグループで意見交流などをしました。全員真剣な顔つきで一生懸命課題に取り組んでいました。コミュニケーションを考えるいい機会となりました。



**中学校** 11月21日、広陵町にある心友助産院の西川佐稲子助産師による「命の授業」を中学2・3年生が受けました。母親の胎内の羊水の温度を体感したり、胎児の成長の様子を人形を使って体感したりしました。また、心音計を使って自分の心拍を聴き、心臓がしっかりと拍動していることに感動する生徒もいました。自分がこの世に生まれてきた「奇跡」を感じることで、これからの生き方、人生の歩み方を深く考えるきっかけとなる、意味深い授業となりました。

